

令和8年2月2日

新居浜市長 古川 拓哉 様

新居浜市長期総合計画審議会
会長 東 渕 則 之

第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）について（答申）

令和7年8月5日付け新企總第113号で諮問のありました第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）につきまして、当審議会において審議を重ねた結果、次のとおり答申いたします。

記

想定を大幅に上回るスピードでの人口減少や、南海トラフ巨大地震や豪雨災害などの自然災害の危険度の高まり、さらには、社会インフラの老朽化や、地域コミュニティにおける繋がりの希薄化など、近年、行政課題は多様化、複雑化しており、地方自治体においては、限られた地域資源を有効に活用し、持続可能な行政運営を行うことが求められています。

このような状況の中、地方自治体が存続、成長していくためには、中長期的な行政計画において市政運営の見通し、方向性を示し、それを市民や事業者と共有することが重要であると認識いたしております。

こうした中、今回策定された第六次新居浜市長期総合計画後期計画（案）につきましては、新居浜市の地域課題を踏まえ、市民ニーズを考慮したものとなっており、計画内容については概ね適切であると認めるものであります、この計画がより一層実効性のあるものになりますよう、当審議会として以下の意見を付すことといたします。

今後におきましては、計画初年度となる令和8年度に向け、本計画をすみやかに策定するとともに、実施に際しては、当審議会の意見を十分に尊重し、計画の着実な推進を図られるよう要望いたします。

(計画全体に関する意見)

- 1 なぜ長期総合計画を策定するのかと言えば、「市民の幸せ」のためである。SDGsは2030年を目標とした取組であるが、その次は、ウェルビーイングの時代だと言われている。「市民の幸せの実現」、「ウェルビーイングの実現」を意識し、後期計画に基づく取組を進めていただきたい。
- 2 今回、審議会委員の意見を踏まえ、見直し・追加したものも含め、当該計画における成果指標、数値目標については、各施策の成果を検証するための重要なデータとなることから、定期的に実績を検証するとともに、その結果を分析し、具体的な施策に反映していただきたい。
- 3 今回、審議会委員の意見を踏まえ、市民意向調査における各施策について、「「不満」と回答した市民の割合を減らしていくこと」を新たな成果指標・目標として設定したが、毎年の調査を通じ、市民の具体的な不満要素の把握に努め、不満解消に向けた具体的な取組を実施していただきたい。
- 4 当該計画の成果指標については、アウトカム指標とアウトプット指標が混在している。次回の長期総合計画策定時には、可能な限り、アウトカム指標に統一できるよう、共通認識のもと成果指標の検討・設定を行っていただきたい。
- 5 市民意向調査を実施する際には、「新居浜市が具体的にどのような事業を実施し、どのような成果が出ているか」、それを知ってもらい、そのうえで回答していただくことが望ましい。こうした視点で、設問の記載内容を工夫したり、可能であれば、アンケート調査票にプラスして、具体的な市の取組や成果がわかる資料（1枚もの）を添付することを検討していただきたい。
- 6 全国的に人口減少、少子化が進む中、今後も一定規模の人口減少は避けられない状況にある。新居浜市には大学がないこともあり、高校卒業後、多くの若者が市外へ転出していると思われるが、一度新居浜市を離れた若者にUターンしてもらうための取組、施策により一層注力していただきたい。

(まちづくりの目標に対する意見)

(まちづくりの目標 1)

1 施策 1－3 教育現場における I C T の活用は今後益々重要になってくる。近年利活用が進む生成 A I についても教育現場に取り入れていただきたい。

2 施策 1－3 不登校の児童・生徒の割合が急増しており、その対応は急務である。追加で設定した成果指標「学校以外に専門機関等と関わりのある児童・生徒の割合を増やすこと」に加え、サポートルームの増設等にも取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 3)

3 施策 3－4 近年、ふるさと納税は地方自治体にとって大きな財源となっており、新居浜市においても、専門家のアドバイスを踏まえ、新たな視点での返礼品の開発、歳入増に注力していただきたい。

4 施策 3－4 成果指標として「宿泊を伴う観光入込客数」を追加で設定しているが、目標達成に向け、観光施策の充実に取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 4)

5 施策 4－8 成果指標として「デマンドタクシーの実利用者数」を追加で設定しているが、高齢化が進む中、より多くの市民に制度を利用していただけるよう、制度の周知を図るとともに、関連施策の充実に取り組んでいただきたい。

(まちづくりの目標 5)

6 施策 5－1 成果指標として「電子図書館登録者数」を追加で設定しているが、市役所のデジタル化を推進する中、より多くの市民に電子図書館を利用していただけるよう広報・周知に取り組んでいただきたい。

7 施策 5－5 地区別人権・同和教育懇談会の参加者を増やすため、オンライン開催等も検討していただきたい。

8 施策 5－9 国際化を推進するためには、多くの日本人が海外に足を運び、外国の文化や人々に触れることが肝要であり、新居浜市でもそうした観点の取組の充実を図っていただきたい。